

令和2年2月21日制定

令和2年4月1日施行

(審査体制)

日本大学大学院生物資源科学研究科学位（修士）論文審査委員会に関する内規に基づいて設置された委員会での合議により審査する。

(評価項目)

1 課題の設定

- ① 生物資源科学関連の諸問題を解決できる新規性, 独創性, 専門性を有する研究課題であること。
- ② ディプロマポリシーの要求事項を満たし, 高い倫理観のもとに実施された社会的, 学術的な意義のある研究課題であること。
- ③ 関連分野の研究者に対してもインパクトが強い「発信力」のある研究であること。

2 学位論文の組み立て

- ① 先行研究, 関連研究について十分調査し, その問題点を指摘したうえで研究を組み立てていること。
- ② 研究目的が明確であり, 問題解決に関連する仮説を提示するなどし, その検証のための調査・実験を組み立てていること。
- ③ 研究目的から結論に至るまで, 首尾一貫した論理を展開していること。
- ④ 研究結果は, 先行研究の結果などと比較して十分議論・考察されたもので, 関連研究の中での位置付けが明確であること。特に, 研究結果の独創性と新規性については, 関連研究を適切に引用しながら論じていること。
- ⑤ 研究結果から導かれた結論が適切であること。
- ⑥ 調査や実験は, 適切な方法を選択し, 関連する法令・法規などに則り, 安全面にも配慮していること。
- ⑦ 調査・実験結果は, 適切な方法（統計解析など）により解析され, 十分な説明・解釈を行っていること。
- ⑧ 論文の作成に利用した標本, データなどが適切に保管されていること。

3 学位論文の構成とスタイル

- ① 研究内容を適切に表現する論文題目となっていること。
- ② 文章は, 適切な学術用語を使用し, 明確で分かりやすい論述であること。
- ③ 図や表とその説明文が適切に作成されていること。本文中での図表の呼び出しが適切になされていること。
- ④ 参照論文を適切に引用し, 引用文献リストに正しく記載されていること。

(評価基準)

上記1～3の評価項目を総合評価し, 一定基準以上のものを学位論文として合格とする。

以 上